

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		義務教育就学児医療費助成事業費 [義務教育就学児医療費助成事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費	事業番号	7
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名		子育て支援課 手当・助成係						課長名		新海 隆弘	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施 策 番 号		2 - 4	
【施策名】 児童福祉の推進								総 合 計 画 書 (ページ)		59	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 児童(小・中学生)の保護者				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 児童(3/31時点7~15歳)の人口 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 児童(小・中学生)の保護者				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 医療費助成件数 →						
	③ そのために何をしましたか。 ①申請受付 決定後 ②所得調査 ・現金給付、現物給付処理 ③審査 ・更新処理・医療証送付 ④決定・医療証送付 ・消滅処理 →				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 受給児童数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	7,029	6,991	6,985					
	成果指標	②の数値	件	68,182	69,152	68,777					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方											
3 経費	事 業 費 (実績)		円	146,227,822	144,705,496	148,460,658		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	67,602,822	20,491,496	27,784,658					
		特定財源	円	78,625,000	124,214,000	120,676,000					
	(うち受益者負担)		円	0							
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	4,126,500	4,122,000	831,000					
職員人件費(再任用)		円	0								
事業費+人件費		円	150,354,322	148,827,496	149,291,658						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H19 年度								
	(2) 環境の変化 平成19年10月施行 0～6歳児対象の医療費助成事業がすでにあり、さらなる子育て推進の一環として都の制度が創設された。 少子化が進むなか、子育てしやすい環境づくりをするための事業実施が進んできた。 対象者の医療保険分の負担は、開始当初の自己負担の3分の1から、平成21年10月に通院・調剤は負担なし、通院は1回上限200円に拡大。 また、平成24年10月から児童手当の所得制限改定に準拠し、所得制限を引き上げた。										

事業名称	義務教育就学児医療費助成事業費 [義務教育就学児医療費助成事業]			
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係 課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	6歳までの乳幼児医療助成制度のように、所得制限の撤廃・助成割合の拡大の要望がある。 また、助成対象年齢の18歳までの拡大の要望もある。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
特になし				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（2）を転記）			
	過去の記録を調べる際にすぐに分かるよう、フォルダ内を整理し、各事例をわかりやすくまとめて記録した。 また、年度更新等の詳しい流れをマニュアルとして残した。 上記のものが古くならないように常に更新する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	過去の記録を調べる際にすぐに分かるよう、フォルダ内を整理し、各事例をわかりやすくまとめて記録した。 また、年度更新等の詳しい流れをマニュアルとして残した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
上記のものが古くならないように常に更新する必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 児童福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 適正な窓口受付、事務の執行			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	特になし			